



## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東  
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 杉山 真二郎 (TEL) 03-6809-0951  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,626	△10.4	286	△20.2	311	△18.9	210	310.8
2023年9月期第3四半期	4,048	△10.6	358	—	383	—	51	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 △97百万円(—%) 2023年9月期第3四半期 303百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第3四半期	円 銭 20.41	円 銭 —
2023年9月期第3四半期	4.84	4.84

(注) 2024年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第3四半期	百万円 7,272	百万円 4,550	% 62.6
2023年9月期	7,100	4,630	65.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 4,549百万円 2023年9月期 4,625百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,330	3.6	350	15.0	345	1.0	200	—	19.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期3Q	10,813,700株	2023年9月期	10,813,700株
2024年9月期3Q	491,990株	2023年9月期	491,990株
2024年9月期3Q	10,321,710株	2023年9月期3Q	10,596,710株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	4
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益及び包括利益計算書	7
（第3四半期連結累計期間）	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（会計方針の変更）	8
（セグメント情報等）	9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	10
（重要な後発事象）	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

近年における国内のBtoB卸売市場は300兆円規模と推定（※1）されており、非常に大きな市場にも関わらずEC化率は未だ34.9%（EDI（※2）による取引を含む）と、オンライン化されていないBtoB市場は200兆円以上あると考えられます。また、海外市場に目を向けると、BtoB卸売市場規模は数千兆円以上と想定されます。

オークファングループはこの課題に真正面から向き合い解決すべく、コーポレートアイデンティティを「RE-INFRA COMPANY」と定義し、社会の様々な「RE」を統合した唯一無二の再流通インフラを構築し、流通市場のDX化に取り組んでおります。

当社グループは、当社グループの各サービスを利用していただく個人事業主・中小企業のお客様をAppreciator（アプリシエイター）と定義しております。Appreciateは「真価を認める、感謝する、面白く味わう、価値が上がる、買う」などの意味を持ちます。当社が定義するAppreciatorとは「真価を見出し、価値に感謝できる人」と考えており、Appreciatorの皆様が活躍できる社会の実現を目指し事業を推進しております。

具体的には、創業来培った700億件を超える売買データとAI技術により商品の時価を可視化、価格と販路を最適化するソリューション事業、Appreciator（中小企業・個人事業主）を中心とした小売・流通業向けに流通を支援するプラットフォーム事業を展開しております。

2023年9月期までは、プラットフォーム事業の中核であるNETSEA、NETSEAオークション、オフラインの展示・商談会事業OSR（オーエスアール）におけるオンライン及びオフラインのGMV（流通額）の拡大を狙った積極的なプロモーション等を実施しておりました。また中長期の事業拡大のためには海外BtoB卸売市場への展開が不可欠であると考えており、2022年6月より中国海南省に連結子会社「傲可凡（海南）网络科技有限公司」を設立し、人口14億人以上の中国バイヤーをはじめ、世界各国への流通インフラ構築に向けた海外向けサービス展開に着手しています。当期は、成長戦略を海外市場にシフトし、既存の国内事業で継続成長を目指しつつ、中国を起点とした海外事業に積極的に投資をしております。

※1 経済産業省2023年8月31日発表 電子商取引に関する市場調査、BtoB-EC市場規模の業種別内訳より推察

※2 電子的データ交換（Electronic Data Interchange）の略称。受注や発注、出荷や納品などの流通に関わる一連の取引を電子データでやりとりする仕組み

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,626,855千円（前年同四半期比10.4%減）、営業利益は286,485千円（前年同四半期比20.2%減）、経常利益は311,167千円（前年同四半期比18.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は210,706千円（前年同四半期比310.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、従来「在庫価値ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「ソリューション」、「商品流通プラットフォーム」としていた報告セグメントの名称を「プラットフォーム」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### （ソリューション事業）

当セグメントは、データを基にAI技術を活用し在庫の価値を可視化することにより、企業が保有する在庫価値の可視化・最適化等を推進するソリューションを提供しております。主なサービスとしては当社が保有する流通相場データを活用した『aucfan.com（オークファンドットコム）』となり、主たる収益源は有料課金収入及びネット広告収入となります。その他、ネットショップ一元管理サービス『タテンポガイド』の提供、専門知識がなくても直感的に操作できるRPAツール『オークファンロボ』、副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式の副業支援サービス『good sellers（グッドセラーズ）』、Amazonセラー専用アプリ『Amacode（アマコード）』、その他広告運用サービス等を提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、『good sellers（グッドセラーズ）』での法規制にともなうスクール開校数の減少の影響、その他『Amacode（アマコード）』での広告売上の減少、『aucfan.com（オークファンドットコム）』でのSEOの影響による広告売上の減少、クレジットカードの国際ブランドの決済ルール変更に伴う課金売上の減少等がありました。

これらの結果、売上高1,929,354千円（前年同四半期比7.8%減）、営業利益378,818千円（前年同四半期比17.5%減）となりました。

#### （プラットフォーム事業）

当セグメントは、企業の在庫・滞留商品等の流通を支援しており、オンライン及びオフラインにて複数のマーケットプレイスを運営しております。主なサービスとしては、BtoB卸モール『NETSEA（ネッシー）』、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援を行う『NETSEAオークション（旧 ReValueBtoBモール）』、オフラインの展示・商談会事業『OSR（オーエスアール）展示商談会』等がございます。主たる収益源は、NETSEAでは流通手数料収入及び有料課金収入、NETSEAオークションでは商品販売収入、OSRでは決済手数料収入及び出店料となります。

NETSEAでは前年同期にGMV極大化に向けた積極的なプロモーションを実施しておりましたが、当第3四半期連結累計期間においては、成長戦略を海外市場にシフトしたことに伴いプロモーションを効果的なものに抑制し、GMVが減少しました。一方、流通手数料率の見直し並びに広告宣伝費・販売促進費を抑制した結果、売上高並びに営業利益が増加しました。

また、NETSEAオークションでは大手サプライヤーの返品商品の取り扱いが減少し、GMV並びに売上高が減少しました。

これらの結果、売上高1,270,459千円（前年同四半期比23.2%減）、営業利益83,986千円（前年同四半期は44,914千円の営業損失）となりました。

#### （インキュベーション事業）

当セグメントは、事業投資及び投資先企業の支援を通じて、当社が中長期にわたり競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。主たる収益源は、営業投資有価証券の売却益・配当収益、投資先企業へのコンサルティング収益となります。なお、当セグメントでは将来成長の基盤となる海外事業等の新規事業開発等も実施しております。

当第3四半期連結累計期間においては、営業投資有価証券の売却収入がありました。一方、海外事業における新規事業開発等の先行投資を継続しております。

これらの結果、売上高507,368千円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益132,269千円（前年同四半期比48.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,272,382千円（前連結会計年度末は7,100,239千円）となりました。

流動資産は、6,368,972千円（前連結会計年度末は6,170,637千円）となりました。主な要因といたしましては、営業投資有価証券が263,473千円減少、未収入金が189,830千円減少、売掛金が66,322千円減少、商品が17,291千円減少したものの、現金及び預金が752,051千円増加した結果であります。

固定資産は、903,410千円（前連結会計年度末は929,601千円）となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェア仮勘定が38,865千円増加したものの、ソフトウェアが41,651千円減少、長期貸付金が7,474千円減少、工具、器具及び備品が7,257千円減少、のれんが2,983千円減少、建物が2,299千円減少、繰延税金資産が1,690千円減少した結果であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,721,799千円（前連結会計年度末は2,469,419千円）となりました。

流動負債は、2,672,452千円（前連結会計年度末は2,295,529千円）となりました。主な要因といたしましては、短期借入金が440,000千円増加、未払法人税等が59,228千円増加、その他（流動負債）が22,523千円増加したものの、未払金が77,388千円減少、契約負債が26,027千円減少、買掛金が25,360千円減少、1年内返済予定の長期借入金が13,353千円減少した結果であります。

固定負債は、49,346千円（前連結会計年度末は173,889千円）となりました。主な要因といたしましては、繰延税金負債が63,662千円減少、長期借入金が61,644千円減少した結果であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,550,583千円（前連結会計年度末は4,630,819千円）となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が210,706千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が283,405千円減少した結果であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2023年11月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において、入手可能な事実情報、及び現時点で判明している当社業績への直接的影響に基づき作成しております。今後の状況や市場環境の変化によって当社業績への影響の範囲が大きく変動等した場合、その時点での合理的な算出により業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,280,940	4,032,991
売掛金	423,363	357,040
営業投資有価証券	1,574,460	1,310,987
商品	36,721	19,429
仕掛品	15	—
貯蔵品	109	143
未収入金	712,495	522,664
その他	201,501	195,911
貸倒引当金	△58,969	△70,196
流動資産合計	6,170,637	6,368,972
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	83,914	81,615
工具、器具及び備品(純額)	48,086	40,828
その他(純額)	2,645	2,186
有形固定資産合計	134,646	124,630
無形固定資産		
のれん	8,950	5,967
ソフトウェア	463,671	422,019
ソフトウェア仮勘定	27,743	66,609
その他	1,623	1,358
無形固定資産合計	501,988	495,954
投資その他の資産		
長期貸付金	14,118	6,643
繰延税金資産	90,754	89,064
破産更生債権等	298,532	298,532
長期未収入金	348,147	325,647
その他	187,978	187,002
貸倒引当金	△646,565	△624,065
投資その他の資産合計	292,966	282,825
固定資産合計	929,601	903,410
資産合計	7,100,239	7,272,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	83,684	58,323
短期借入金	1,100,000	1,540,000
1年内返済予定の長期借入金	103,330	89,977
未払法人税等	19,583	78,812
未払金	783,827	706,439
契約負債	124,442	98,415
賞与引当金	3,600	900
その他	77,061	99,584
流動負債合計	2,295,529	2,672,452
固定負債		
長期借入金	63,350	1,706
繰延税金負債	68,290	4,627
その他	42,249	43,013
固定負債合計	173,889	49,346
負債合計	2,469,419	2,721,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	973,683	973,683
資本剰余金	907,859	904,985
利益剰余金	2,381,593	2,592,300
自己株式	△340,055	△340,055
株主資本合計	3,923,081	4,130,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	702,871	419,466
為替換算調整勘定	△581	△690
その他の包括利益累計額合計	702,289	418,775
新株予約権	2,894	—
非支配株主持分	2,553	894
純資産合計	4,630,819	4,550,583
負債純資産合計	7,100,239	7,272,382



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,048,321	3,626,855
売上原価	1,992,833	1,589,373
売上総利益	2,055,488	2,037,482
販売費及び一般管理費	1,696,633	1,750,996
営業利益	358,854	286,485
営業外収益		
受取利息	368	296
為替差益	25,037	20,594
受取手数料	1,467	438
貸倒引当金戻入額	143	4,685
その他	3,423	7,070
営業外収益合計	30,440	33,086
営業外費用		
支払利息	4,423	5,233
控除対象外消費税等	1,053	167
その他	266	3,003
営業外費用合計	5,742	8,403
経常利益	383,552	311,167
特別利益		
新株予約権戻入益	14	2,894
受取保険金	—	10,000
その他	162	—
特別利益合計	176	12,894
特別損失		
固定資産除却損	248	230
特別調査費用等及び過年度決算訂正関連費用	196,744	—
構造改革費用	121,289	—
特別損失合計	318,283	230
税金等調整前四半期純利益	65,445	323,831
法人税、住民税及び事業税	20,383	81,936
法人税等調整額	△6,229	55,414
法人税等合計	14,153	137,351
四半期純利益	51,292	186,480
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,292	210,706
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△24,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252,335	△283,405
為替換算調整勘定	—	△109
その他の包括利益合計	252,335	△283,514
四半期包括利益	303,627	△97,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,627	△72,807
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△24,226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,977,165	1,633,730	437,425	4,048,321	—	4,048,321
セグメント間の内部売上高又は 振替高	116,444	19,467	—	135,912	△135,912	—
計	2,093,609	1,653,198	437,425	4,184,234	△135,912	4,048,321
セグメント利益又は損失(△)	459,266	△44,914	257,045	671,396	△312,542	358,854

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△312,542千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,879,159	1,240,327	507,368	3,626,855	—	3,626,855
セグメント間の内部売上高又は 振替高	50,195	30,131	—	80,326	△80,326	—
計	1,929,354	1,270,459	507,368	3,707,182	△80,326	3,626,855
セグメント利益	378,818	83,986	132,269	595,075	△308,590	286,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△308,590千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「在庫価値ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「ソリューション」、「商品流通プラットフォーム」としていた報告セグメントの名称を「プラットフォーム」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	143,612千円	173,584千円
のれんの償却額	75,783千円	2,983千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。